



大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 78 号
2022 年 10 月 14 日 発行



《執行部より》

8月に鹿児島市の黎明館で開催予定だった現状報告会はコロナウイルス感染症拡大に伴い中止となりました。今回報告予定だった鹿児島市学校事務研究会と日置地区学校事務職員会のレポートは県事協のホームページに掲載されていますのでご確認ください。

また、来年度は大島地区が報告担当となっております。現状報告会へたくさんの方が参加されることを期待しております。

《各地区からのお便り》

今回の原稿は、徳之島町・龍郷町です。

「支援室だより」もいただきました。年度末・年度初めに注意することや支援室の1年間の取り組みなど表やイラストで説明されておりとても参考になりますね。



徳之島町事務職員会



【徳之島町事務職員会紹介】

みなさんこんにちは。徳之島町事務職員会です。

本町は小学校8校、中学校6校に9名の事務職員が配置される構成（兼務発令2名）です。今年度新規採用が2名配置され、昨年度の1名と合わせ、大分若返りました。（北部に集中し、支援の手が届きにくいのが難点です）また、支援室は北部6名（9校）、南部3名（5校）、とややいびつな人数割りで2つになっています。これは、統廃合や認定件数の関係で現在の形になったと聞いています。

活動は年8回。主に中心地？に近い生涯学習センターで行っています。（年1回亀津中学校開催）

活動内容は、県費・町費事務の情報交換、町教育委員会への予算等要望書の作成、広報紙「てのひら」の編集・発行（年3回）と年度別にテーマを設定する「テーマ研修」です。今年も「保護者負担軽減」「業務改善（町教育委員会からの現金を個人口座振込へ）」の視点は継続し、切り口を変えて行っています。

また、特徴の一つとして、支援室との関係が深いということがあります。合同支援室、合同の共同実施協議会、とはじめは区別が付きにくいかもしれませんが。しかし、町内事務職員全員が集まる機会が多く、繋がりやすい環境を作れていると思います。

旅行でも異動でも是非一度徳之島に来ていただきたいと思います。



龍郷町事務職員部会



龍郷町事務職員部会

龍郷町立龍郷小学校 吉村 真紀子

みなさん、こんにちは。

龍郷町事務職員部会は、小学校6校、中学校3校の計9校、8名で構成されています。龍南中学校を拠点とし、月に1～3回、年間27回の支援室の中で手当認定業務や実績の相互確認等を行っています。また、年に3回実施する事務職員研修会では、テーマを決めて研究に取り組んでいます。

昨年度までは、効力のある諸手当受給権調査を町内で足並みを揃えて行うために、町事務委任規程の修正や統一した様式の整備を行いました。今年度は、町費事務マニュアルの作成に取り組んでいます。市町村費執行方法については各市町村で違うこともあり異動当初は戸惑うことが多い分野ですが、マニュアルがあることにより転出入で職員が入れ代わっても滞りなく業務に取り組めるのではと考え、現在整備中です。なお、並行して、町独自で使用している手当認定時のチェックリストの内容の見直しも行っています。

龍郷町事務職員部会は、新採や再配といった経験年数が浅い職員が多いため、こうした研修・研究を行うことが、それぞれの研鑽につながると考え、今後も積極的に各業務についての研修・研究に取り組んでいきたいと思っています。





2学期も1カ月が過ぎほとんどの学校は運動会、体育大会が終わり、学習発表会、文化祭と次の行事に向けてまた一段と忙しくされているのではないのでしょうか。まだまだ暑い日が続きますが熱中症に気を付けながら、また、コロナにも負けず頑張っていきましょう。



続いて新規採用者の声です。1年目の方からいただきましたのでどうぞご覧ください。



新規採用者の声



徳之島町立母間小学校 緒方 桜子

皆さん、こんにちは。今年度新規採用職員として徳之島町立母間小学校に赴任しました、緒方桜子と申します。

つい先日まで大学生だったので、事務職員としてだけでなく、社会人としても学ぶことが多い日々を過ごしております。はじめて島に来て、知り合いが誰もいなく、不安でいっぱいでしたが、優しく声をかけてくださる先生方や、たくさん遊びに来てくれる子供たちのおかげで毎日楽しく頑張っています。昼休みには子供たちと「けいどろ」をしたり、鉄棒をしたり、おりがみをしたり、たくさんの元気をもらっています。

仕事に関しては何も分からないうえ、職場に事務職員が一人ということもあり、不安でいっぱいでしたが、右も左も全く分からなかった私に近隣の事務職員の先生方がお忙しい中わざわざ学校まで来て教えてくださり、たくさんの質問にも丁寧に答えてくださりました。そのおかげで今やっと慣れてきて業務をこなすことができます。先生方には感謝でいっぱいです。

これからも少しずつ学びながら学校のために精一杯学校事務の仕事に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



徳之島町立花徳小学校 森本 聖羅

みなさんこんにちは、本年度より新規採用され、徳之島町立花徳小学校へ参りました、森本聖羅と申します。近隣の事務職員の先輩方や学校の先生方、子ども達に支えられ、無事に1学期の終わりを迎えることができ、ほっとしています。事務職員の先輩方の丁寧なサポートや、学校の先生方の温かいご指導のおかげで、不安や焦りでいっぱいだった4月に比べ、少しずつ気持ちに余裕が持てるようになってきました。そんな先輩方や先生方の存在は、とても心強く、ありがたい限りです。

学校の雰囲気や1日の流れにも慣れてきて、昼休みに子ども達が事務室に遊びに来てくれたり、子ども達と外で一緒に遊んだり、業務だけでなく学校生活の中にも楽しさを感じるようになり、充実した毎日を送っています。また、初めての1人暮らしが始まり、慣れないことも多く、親のありがたさを痛感する日々です。闘牛やスキューバダイビングなど島だからこそできる体験を通して、私生活の方も充実させていきたいです。

言葉遣いや文書作成など、社会人としての自分にまだまだ違和感がありますが、日々の学びを大切に、そして恵まれた環境の中で、仕事ができていることを忘れずに、努めて参ります。今後ともよろしく願いいたします。



《今後の大事協だよりについて》

- (1) 大事協だより第79号は12月発行予定です。編集は大和村、原稿担当地区は奄美市西部ブロックと笠利ブロック、新規採用者の声は瀬戸内町の先生方に依頼しております。よろしくお願いいたします。
- (2) 2月に発行予定の大事協だより第80号では、退職予定の先生方のご挨拶を掲載する予定です。各地区理事の先生は、対象の方がいる場合は研修部長まで連絡してください。

《編集後記》

原稿編集する際に参考のため過去の大事協だよりを見ることがあります。歴代の記事を見ると趣味のことや愛犬の写真を記載されていた方もいて、個性あふれる内容に思わず笑みがこぼれました。原稿編集や担当になった際にはぜひお好きなものや楽しんでいることなどについて書いてみてください。

